

ろうさいの森

Vol. 185 2026年2月号



宮古島のアダン 病院長 森田 明夫 撮影

「マンガでわかる脳神経外科の極意・Dr森田の脳外漫」が出版されました

当院 森田院長の著書が出版されました。脳神経外科診療の大事なポイントをわかりやすく漫画でまとめたものです。

今までにない方法で、日米の脳神経外科で蓄積された技と心を伝える試みです。良い脳神経外科医がたくさん生まれることを目指しています。

令和8年1月29日から、ネット・医学書店等にて販売されています。

京急グループコラボ弁当 が 「お弁当・お惣菜大賞2026」 に入選しました

京急グループと東京労災病院のコラボ弁当 身体想い弁当第一弾「チキンロールの2種のおにぎり弁当」が15,000余の商品の中からお弁当・お惣菜大賞2026に入選しました。

今後も、健康を考えた美味しいお弁当開発を進めています。



第9回ひだまりを開催しました

1月20日（火）に、健康・楽しみ・交流の場「ひだまり」を開催しました。

当院 吉玉副院長による、高血圧についてのお話やダルマ作りを行いました。

～次回開催日程～

「生き生きとした生活を送るために
認知症について知ろう」
「個性あふれる！？お雛様作り」

- ・開催日：2月17日（火）
- ・時 間：15:30～16:30
- ・場 所：3階 大会議室
- ・参加費：無料 お気軽にご参加ください



外来担当医表は裏面へ

独立行政法人労働者健康安全機構東京労災病院 発行人 木村 幸司
〒143-0013大田区大森南4-13-21 TEL03-3742-7301



「はたらく乗り物大集合 in HEIWAJIMA2026」に参加します



「BIGFUN平和島」および「ポートレース平和島」にて行われるイベント「はたらく乗り物大集合 in HEIWAJIMA」に参加します。救護所の設置やAED体験を行う予定です。ぜひお越しください。

- ・開催日：2026年3月8日（日）（荒天中止）
- ・時 間：10:00～16:30
- ・場 所：BIGFUN平和島・ポートレース平和島
- ・入 場：無料

ろうさいの森 地域紹介コーナー

東京労災近隣の散歩紹介：池上梅園

今回はちょっと離れたところですが、当院から北西に約4km離れたところに池上梅園が大田区唯一の古刹本門寺の隣にあります。近くを通りかかるだけで梅の良い香りがします。

この季節まだ寒いですが、一足早く春の香りを楽しんではいかがでしょう。



編集人 小又 美悠 R8.2.1発行

総合診療科

総合診療科部長 山本 武史

どこの診療科を受診すればいいの？

腹痛は、… 内科？外科？血管外科？泌尿器科？…

息苦しさは、… 呼吸器内科？循環器内科？過換気ならどこ？…

胸部痛は、… 循環器内科？呼吸器内科？呼吸器外科？…

腰痛は、… 整形外科？消化器内科？泌尿器科？…

発熱は、… 風邪？どこかの感染症？自己免疫疾患？血液疾患？…

普段、医師が一般臨床を行っていると、通常の外来診療のみではその病態がどの程度悪いのか？急ぐべきなのか？一日様子を診ていてよいのか？と悩む場面に出くわすことはしばしばあります。このような場合には、当科へのご相談も選択肢の一つとなります。

これは症状の出た患者さんも同様で、この症状で近くのクリニックに行けばよいのか？やはり総合病院に行くべきなのか？悩んでもしまうことはより多くなるのだと思います。

そのような時、とりあえず相談してみようと思う診療科は総合診療科も、相談先の一つとして考えられます。

2020年1月から当院に再赴任し、総合診療科を立ち上げるという目的のもと、何から手を付けていくか考えている最中に、コロナ禍が始まり、発熱外来の運用をするなどしながら、ようやくここ2年ほどは火曜日の1日、木曜日の午後2時以降の外来診療と各科に振り分けきれない入院患者さんを診療する日々を過ごしてきました。中には非常に難しいケースがあったことも事実であり、すべてが良好な転機をたどったわけではありません。

最近は、うまく表現できないような倦怠感や易疲労感などの患者さんの相談も徐々に増えてきています。

時間をかけて病状の変化を確認し、お話を何度もお聞きすることあります。必ず、診断がつくものばかりではありませんが、その中で考えられる疾患を想定し、患者さんを診ながら検査を進め、その中で確定できずとも、より疑わしい疾患として症状の経過を確認しながら、対応を行うことがあります。

内科、外科と初めから決めつけず、考える疾患を様々に想定していくことと、あきらめずに患者さんやその病と向き合い、患者さんの生活が持続できるような配慮をして診療を進めていくことができるよう努めています。



産婦人科

産婦人科 長屋 憲

当院の産婦人科では、長い間、分娩管理や婦人科腫瘍の手術、あるいは不妊症の治療など、広い範囲の対応を行ってきましたが、現在は一般産婦人科外来診療に限定した診療を行っています。

医学、医療の進歩とともに、産婦人科領域でも各分野の専門性が高くなってきています。妊娠・分娩管理の領域、腫瘍・特に悪性腫瘍の治療、不妊症治療の分野などは非常に専門性が高くなっています。さらには、行政の保険診療に絡んだ諸条件の厳格化も加わって、一人の医師がその治療行為に詳しいとか、得意としている、というだけでは第一線の診療を行い難い状況になっています。

当科では、各専門施設と連携を取りながら、それぞれの患者さんにふさわしい治療を行えるように心掛けております。



母乳外来

当院では、経験豊富な助産師が産後の乳房トラブルや授乳に関するご相談に応じております。随時、予約を受け付けておりますのでお気軽にご利用ください。

一般外来診療

女性の4人に1人が罹患しているという子宮筋腫など、良性疾患の管理や、月経痛、外陰部のかゆみ、帯下の不快感や子宮が下がってくるなどによる違和感など、様々な気になることへの対応を行っています。

また、患者さんの高齢化が顕著となっていて、婦人科領域に限らず多方面への愁訴を持って来院する方が増えています。総合的な対応を心掛けるように努めています。更年期に入った方への対応が一つの例ですが、婦人科的疾患がなくとも、丁寧にお話をさせていただき、各科の先生方と協働しながら、患者さんの不安を解消していくことが重要な責務と考えています。

不妊症治療

妊娠し難い方の原因を探って改善を図ることが治療の主体です。体外受精の技術が進歩したため、体外受精を含めた総合的な管理が合理的なことから、不妊治療は専門施設が行うようになっています。施設ごとに特色があるため、必要に応じたご説明とご紹介を行っています。

悪性腫瘍

技術の進歩から、がんは専門施設での治療が基本となり、必要に応じてご紹介しています。

健診方法が確立しているのは子宮頸がんだけのため、閉経後の出血には画像診断を繰り返し行い子宮体がんの精査を、また、婦人科検診でも超音波検査を積極的に実施しています。

妊娠分娩

少し前までは、ほとんどのお母さんは普通に出産して正常な赤ちゃんが生まれるものと信じ込んでいる人が大多数でした。

実際は、現在でも千人生まれれば数人が何らかの障害を背負ったり、妊娠・出産によって毎年数十人のお母さんが命を失っていて、この比率は日本の人口に対する交通事故死よりも高いのです。数十年前には、さらに高率に児や母体が悲惨な状況にありました。多くは、妊娠前には何の異常もない人でした。妊娠、出産を専門的に管理できる産婦人科医師と施設が増加し技術を高めてきた結果、悲しい思いをする事態が減ってきています。

当科では、希望を伺いつつ、安心感を得られる専門施設へご紹介しています。